Wishing roads were longer.

取り扱い説明書

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後も、
大切に保管してください。

www.eonon.co.jp

Eonon

目次

配線配置 …… 2

注意事項 …… 3

メインメニュー …… 4

設定画面 …… 5

GPSナビゲーションシステム …… 10

Bluetoothモード …… 10

ラジオモード …… 14

DVD/SD/USBモード …… 15

IPODモード …… 17

AUXモード …… 18

気圧警報システム(TPMS)（別売） …… 19

リモコン …… 19

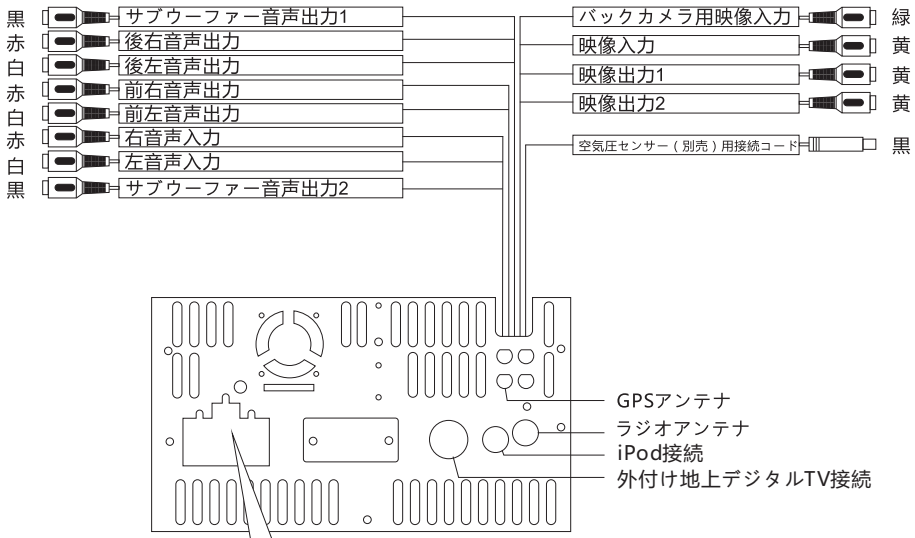
規格 …… 22

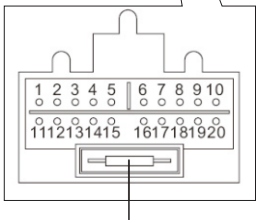
トラブルシューティング …… 23

感謝のご挨拶

このたび、Eonon車載DVDプレーヤーをご利用いただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管し、必要な時にお読みください。

配線配置：





電源ヒューズ(15A)

1. ステアリングコントロールコード1
2. CAN BUS RX
3. 外部アンプコントロールコード
4. ヘッドライト信号用コード
5. リバース信号用コード
6. アクセサリコード
7. 前右音声出力-
8. 前右音声出力+
9. 前左音声出力-
10. 前左音声出力+
11. ステアリングコントロールコード2
12. CAN BUS TX
13. ブレーキ信号用コード
14. オートアンテナコントロールコード
15. アースコード
16. バッテリーコード+12v
17. 後右音声出力-
18. 後右音声出力+
19. 後左音声出力-
20. 後左音声出力+

注意事項：

◆ 本製品は12Vバッテリとマイナスアースの車専用です。貨物車や大型客車など24Vの大型車両に搭載する場合は変圧装置をご使用ください。

◆ 電気系統のショートが発生する恐れがありますので、取付作業前に、バッテリーのマイナス接続を切断してください。

◆ 接続コードが他の部品（ハンドブレーキ、シフトレバー）に接触しないよう、固定できるところに設置してください。また、熱がコード絶縁層の溶解と摩滅を引き起こし、接続コードと車体のショート・サーキットの原因になりますので、熱源（暖房排出口など）付近に設置しないでください。

◆ 壊れたヒューズを取り替えるとき、必ず規定の(15A)のものをご使用ください。高容量ヒューズ使用、或いはヒューズの不使用は火災と機体破損の原因となりますので、絶対にしないでください。

◆ 黄色いバッテリコードをバッテリに接続するとき、電源コードを取付穴からエンジンルーム内に引き込まないようご注意ください。電源コードの破損、車両ショートがする恐れがございます。

◆ 他の機器の電源コードを本製品の電源に接続しないでください。過負荷によって過熱が発生する恐れがございます。

◆ ショートの恐れがございますので、使用しないスピーカーケーブルは必ず熱収縮チューブ或いは絶縁テープで絶縁処理してください。

◆ ケーブルの電線と製品の金属部の接触は、ショートの原因となることがあります。ケーブルなどは絶縁処理を行ったうえ、まとめてください。

◆ 車の点火装置にACCの位置がない場合、点火スイッチの鍵で点火コードを「オン/オフ」のできる電源に接続してください。

◆ 本製品の電源をオンにした場合、外部アンプ制御信号がコードPOW-AMPを通じて出力するシステムになっています。漏電など故障の原因となりますので、外部アンプを接続した場合、POW-AMPコードをアンプの電源に接続しないでください。

◆ アンプ故障の原因となりますので、本製品のスピーカーの出力端子を絶対にアース接続しないでください。また、3線式配線スピーカーシステム、そして、スピーカーのワイヤーを車体に接続しないでください。

◆ 本機と接続するスピーカーは必ずハイパワーのものを使ってください。最小定格は50Wで、インピーダンス4Oのものをご使用ください。複数のスピーカーのワイヤーを直接接続しないでください。また、インピーダンスは定格内のものをご使用ください。でないと、ショート・サーキットを引き起こし、故障の原因となります。

警告：

1. 本機を湿気の高いところに置かないでください。火災や感電事故の原因となります。
2. 機内には危険な高圧部分品が装備されており、本機の蓋を開けないでください。
3. 本機の改造や部品の取替えなどは使用の不便をもたらす可能性があります。必要な時、弊社或いは弊社の委託業者にお問い合わせください。
4. ディスクの挿入口周辺は常に清潔に保ってください！埃などの汚れがありましたら、すぐに拭くよう、お願いいたします；ディスクに埃があれば、機械に挿入する前に必ず柔らかい干し布できれいに拭いてください。汚れなどの混入はディスクの入れや取り出し不動などの動作不良の原因となります。さらにレーザーヘッドを汚れ、ディスク読み込み異常が発する恐れがあります。
5. 長期間のディスク再生、大ボリュームでの使用は本製品の使用寿命に悪影響を及ぼします。本製品を保護するために、本機を長期間使用する場合、ラジオ機能と適当のボリュームでの使用をおすすめします。
6. 本製品は高精度な部品で構成されています。損傷を避けるために、機械の分解、部品お取替えなどは行わないでください。
7. 硬く、鋭いものは液晶ディスプレイを傷つける可能性がございます。ディスクプレイに接触しないようご注意ください。

安全注意：

● 運転者が走行中にTVや番組の鑑賞とその他の操作はご遠慮ください。
● 当製品はバック走行時のサポート機能を備えていますが、不注意及びその他の原因で発生した事故について、弊社には一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

メインメニュー：

1.GPSモード　2. Bluetoothモード　3.ラジオモード
4.DVDモード　5.SDカードモード　6.USBモード
7.TVモード　8.IPODモード　9.AUXモード
10. タイヤ空気圧監視システムTPMSモード
11.設定画面

メイン画面は三つのウインドウに分けて表示されます。画面をスライドさせて、次のウインドウが表示されます。
メイン画面には11モードのアイコンがあり、好きなように配置できます。（アイコンを2秒押し続けると、移動できるようになります）。
1-11のアイコンをタッチし、それぞれのモード或いは設定画面に移動できます。
注意： DVD、SD、USB或いは他の外部設備が接続されていない場合、このアイコンをタッチすると、「No Device!」が表示されます。

EONON カラフルクロックは設定画面において、色を変えることができます。パネルボタンのバックライトも共に変更されます。

設定画面：

設定画面には、システム設定・音声設定・映像設定・ナビソフトルート設定・起動画面LOGO背景設定など、その他の設定が含まれています。
設定画面は全部で3つのページがあり、 或いは をタッチして、前のページ、次のページへ移動することができます。
サブメニューより、 或いは をタッチして、前のページ、次のページへ移動することができます。

1.システム設定：

時間表示：スクリーンの右上の時間表示のON/OFFを切り替えます。
ハンドブレーキ：ハンドブレーキ検出を有効/無効にします。
操作音：操作音のON/OFFを切り替えます。
バックグラウンド画像切替：背景画像のON/OFFを切り替えます。
ヘッドライトの検出：ヘッドライト検出モードを有効/無効にします。ヘッドライト検出を実行するとき、スクリーンの画面が自動的に暗くなります。
ナビゲーションミックス：ナビゲーションミックスモードを有効/無効にします。
ミキサーモードを有効に：GPSナビゲーションの音声は再生オーディオと同時再生されます。
ミキサーモードを無効に：ナビ音声再生中は、前スピーカーではナビ音声だけが再生され、後スピーカーでその他のモードの音声が再生されます。ナビ音声が停止すると、前スピーカーでもその他のモードの音声が再び再生されます。
MIX比率：ナビゲーション音と音楽、ラジオのサウンドミキシング割合を設定します。
ラジオ地域：使用者は（ヨーロッパ、南米、日本、台湾、アメリカ）のラジオ局を選択することができます。選択後、対応する周波数に自動的に実行されます。
バックカメラモード: ON / OFF。バックカメラを取り付けていない場合、バックカメラモードをOFFに設定してください

2.音声設定：

をタッチすると、音声の二つの設置画面を切替えることができます。

画面1：
高音(±7dB)、低音(±7dB)、重低音(0～10dB)の調整。
Eq選択：標準、ポピュラー、ロック、クラシック。
Loud：オン/オフ。

画面2：
上・下・左・右の四つのボタンを通じて、音声のバランスを調整します。

3.映像設定：

明るさ、コントラスト、色相調整、標準、ソフト、明るい、鮮やか選択を含む。

4.ナビソフトルート設定：

をタッチし、ルーツ選択画面に入って、適応したルートを選択します。
★注意：正しい地図ルートを選択しないと、ナビモードは起動しません。

5.GPSモニター：

GPS衛星信号の情報をモニタリングします。

6.時間設定：

時刻と日付の設定は、12時間制と24時間制を選択することができます。GPSの時刻を同期するかどうかを選択し、タイムゾーンを選択し、変更したい日付と時刻を調整し、すべての調整が完了すると画面上に反映されます。

7.言語設定：

この画面で、任意の表示言語を選択することができます。

8.ステアリングコントロールの設定：

ハンドル上のボタンで製品を操作できるように設定します。

ご使用の車輌のハンドルにステアリングボタンが装備されている場合、以下の操作でステアリングコントロール設定を行って下さい。
1. 製品本体の電源をOFFにしてから、附属のステアリングコントロール配線(KEY1、KEY2、車輌によって2本のものと3本のものがあります)と、車輌のアース線を接続します。車輌にステアリングコントロール配線が3本ある場合は、そのうちの2本を本製品のステアリングコントロール配線に接続し、2本の場合は、そのうちの1本を接続します。
2.接続成功を確認した後、電源を入れて、設定画面のステアリングコントロール設定に入ります。
3.【スタート】ボタンをタッチし、ステアリングコントロールに入ります。
4．ハンドルのステアリングボタンを長押しして、本体画面に「設定したいボタンを押して下さい」と表示されたら、任意のボタンを選択し、タッチすると、ステアリングコントロールの設定ができます。
5．以上の手順ですべてのステアリングボタンの設定が終わったら、【終了】ボタンをタッチして、設定を完了します。

9.タッチパネルキャリブレーション：

【タッチパネル】ボタンをタッチして、修正画面に入ります。タッチペンを【+】マークの中心に合わせて、表示される順番に5回ポイントをタッチします。修正が完了すると、画面に【OK】と表示されます。【OK】をタッチすると設定メニューに戻ります。

10.LEDライトの色の設定：

この設定画面では、パネルのボタンライトの色7色から任意の1色を設定できます。

11.起動時のLOGO画面：

任意のLOGOを選択し アイコンをタッチし、決定します。

12.背景設定：

起動時に表示する背景画像を選択し、 アイコンをタッチし、決定します

背景の追加と変更：

1.好きな写真をSDカード:\Wallpaperに入れます（ご注意！写真の制限サイズ：800x480；ファイルの種類：PNG <32bitがベストであり、おすすめします。。>）
2.電源を入れて、且つSDカードを本製品のGPSスロットに挿入します。（ご注意！GPSスロットに挿入したときだけ写真の更新ができます！）
3.バック設定に入ります。左へ、或いは右への矢印をタッチすると、SDカードにあるPNG写真が見れます。

13.状態を示すアイコンの説明：

メインメニューに戻ります

画面表示ON/OFF：ONの状態でタッチすると画面表示がOFFになります。OFFの状態でも、機器は正常に作動しています。画面のどこかをタッチすると、もとの画面表示に戻ります。

Bluetoothの接続状態アイコン、Bluetoothが接続されています。

GPSナビゲーションシステム

GPSモードを起動する前に、設定画面＞ナビソフトルート設定画面で、ルート設定を行って下さい。
設定画面＞GPSモニター画面で、GPS衛星信号情報を確認することができます。
設定画面＞システム設定画面で、カーナビ音声のミックスとミックス比率を設定することができます。

使用上のご注意と安全警告

1.カーナビシステムは慎重にご利用ください。本システムの提供する情報はあくまでナビゲーション用のものであり、方位、距離、地点、地形などの精密測量に使用しないでください。
2.初めてGPSナビゲーションシステムを使用するとき、広く、上方に遮蔽物がないところでご注意ください。周辺環境と衛星の状態によって、最初の位置測定は2分以上かかる場合がございます。
3.ご安全運転のため、出発前にルートを予め設定してください。前方の状況を見逃して事故になる恐れがありますので、運転中のご設定はご遠慮ください。事故になった場合、弊社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
4.トンネル、建築物内部、地下道、気候変化激しいところ、周囲に高い障害物のあるところ、携帯電話基地局付近などを通過するとき、カーナビシステムが正常に動作できない可能性がございますが、該当エリアを離れると速やかに回復します。
5.あらゆる無線通信設備（携帯電話、レーダー探知機）が、衛星の信号受信を干渉する可能性がございます。予めご了承ください。
6.ルート案内はあくまで地図情報に基づいて行いますので、道路の改修、標識の改変などによって現在状況に合わない可能性がございます。現地の実際状況に合わせて運転するようお願いいたします。

Bluetoothモード

Bluetoothを利用して、ハンズフリー通話と携帯電話内の音楽の自動車の音声設備での再生が可能となります。

一、Bluetoothのペアリング条件

ブルートゥース接続機能が搭載されている携帯電話でなければなりません。携帯電話と本製品の接続を通して、ファイルの交換ができます。

二、携帯電話とBluetoothのペアリング手順

1.Bluetooth画面の

をタッチすると、図1のような画面が表示されます。

（図1）

この携帯電話が以前に本製品と接続したことがあると、 をタッチすると、図2が表示されます。
リストの中に既に接続されたことのあるブルートゥース名称が表示されています。

（図2）

既に接続したブルートゥースのデータをタッチすると、速やかに携帯電話の ブルートゥース機能と接続することができます。

ブルートゥースの接続が切断されます。

接続したブルートゥースデータを削除します。

画面（図1）に戻ります。

2.携帯電話のBluetooth機能を起動し、周辺の機器を検索します。本製品を検索できた場合、初期パスワードの(5802)を入力し、接続します。
3.ペアリングが成功すると、携帯電話上で接続を決定する確認画面が表示されますので、「はい」を選択して接続します。10数秒ほどで接続が成立します。
4.図3のように、画面に「接続済」と表示されます。

（図3）

三、Bluetooth画面操作

1. 撥號 で、図4のようなダイヤル画面が表示されます。

ダイヤルキー

（図4）

削除ボタン：電話番号を間違えた時は、削除することができます。

通話開始：電話番号をダイヤル後、このボタンで電話をかけることができます。電話がかかってきた時に、出ることができます。

通話終了：このボタンで電話を終了できます。電話がかかってきた時に、受信拒否することもできます。

受信音声の切り替えボタン：通話中、相手の音声を本製品で再生するか、携帯電話で再生するか、切替できます。

2. 電話帳 をタッチし、Bluetooth電話ダイヤル画面（図5）が表示されます。

（図5）

リストに表示されている電話番号を選択し、この ボタンをタッチして、電話を掛けることができます。

この ボタンをタッチすると、携帯電話のSIMカードに登録された電話番号が表示されます。

この ボタンをタッチすると、携帯電話のメモリカードに登録された電話番号が表示されます

この ボタンをタッチすると、携帯電話のメモリカードまたはSIMカードの中に登録された電話番号を削除します。

携帯電話のメモリカードまたはSIMカードに登録された電話番号を検索する際は、 をタッチすると、電話番号の削除が停止します。

3. 電話履歴 をタッチすると、Bluetooth通話記録画面に進みます。図6のリストのように、発信履歴、不在着信履歴、着信履歴が表示されます。

（図6）

リストに表示されている電話番号を選択して、 ボタンをタッチすると、電話を発信することができます。

この ボタンをタッチすると、発信履歴が表示されます。

この ボタンをタッチすると、不在着信履歴が表示されます。

この ボタンをタッチすると、着信履歴が表示されます。

この ボタンをタッチすると、選択した番号を削除します。

4. をタッチすると、Bluetoothミュージック画面(図7)が表示されます。

（図7）

再生／一時停止：再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生が開始します。

停止：再生を停止します。ふたたび再生すると最初から再生が開始します。

前の曲へ：再生中にこのボタンをタッチすると、前の曲に戻ります。

次の曲へ：再生中にこのボタンをタッチすると、次の曲に進みます。

5. 設定 をタッチすると、Bluetooth電話設定画面に進みます。

Bluetooth自動接続：本状態を選択し、自動接続機能をオンにします。次回ペアが成功する際、自動的に携帯電話を接続します。携帯電話のBluetooth機能をオフにした場合、手動で接続しなければなりません。

Bluetooth自動電話応答：本状態を選択し、自動応答機能をオンにします。この場合、自動的に電話の応答ができます。

ラジオモード

本製品は高品質なFM/AMチューナーを搭載しており、FM/AM放送局自動検索、放送局、周波数表示、周波数微調節などの機能を備えています。

FMラジオモードのインターフェイスは下図の通りです。

1. ボタンをタッチすると、周波数を微調節できます。押し続けると、次の受信可能局まで自動サーチします。
ボタンをタッチすると、周波数を微調節できます。押し続けると、次の受信可能局まで自動サーチします。
FM/AM切り替え：次の順番で切替えます BAND FM1、FM2、FM3、AM1、AM2
短く 押すと保存しているラジオ局を順番に短時間放送します。
押し続けると全周波数サーチを行い、感度がよいラジオ局を順番に保存していきます。
2.FM放送受信中に、DC/LOCボタンをタッチすると、受信範囲の遠距離／近距離の切換えができます。初期状態では遠距離に設定されています。AM放送では機能しません。
3.RDS機能PTY・AF・TA（ラジオデータ放送が行われている地域で利用できます。台湾、日本等地域では機能しません）
PTYでラジオ番組の分類を選択できます。PTY をタッチし、 または で分類が選べるようになります。分類を設定したあと、PTYをタッチすると、同じ分類のラジオ番組を自動サーチします。

（図1）

Afはラジオ周波数の自動調節機能です。走行中に受信しているラジオ局の信号が悪くなったときに、同じ局の他の放送周波数を自動的にサーチできます。

TAは交通情報の自動受信機能です。30秒ごとに交通情報を放送するRDS放送局の情報をサーチします。緊急交通警報が受信されたときは、自動的に放送を再生します。

DVD、SD、USBモード

ディスク、SDカード、USBを挿入した場合、自動的にDVD、SD、USBモードに入ります。本製品にDVD、SD、USBが既に接続されていた場合、メイン画面にある対応するアイコンをタッチして、それぞれのモードに入ることができます。

ファイルボタン：このボタンをタッチすると、接続されているデバイスのファイルリストが表示されます。

音声ボタン：このボタンをタッチすると、接続されているデバイスのすべてのオーディオファイルが表示されます。

映像ボタン：このボタンをタッチすると、接続されているデバイスのすべての映像ファイルが表示されます。

画像ファイルボタン：このボタンをタッチすると、接続されているデバイスのすべての画像ファイルが表示されます。

DVD、SD、USBモード自動再生機能の優先順位ファイル＞音楽＞ビデオ＞写真。

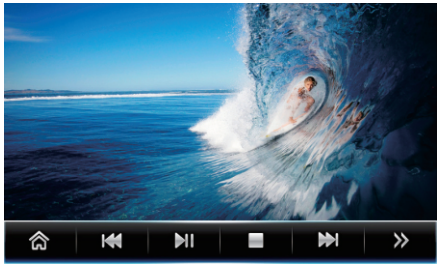
ファイル及び音楽再生ボタン：

前の曲 巻き戻 再生/一時停止

停止 早送り 次の曲

リプレー/ランダム再生 サウンドの EQ 選択

ビデオ再生及び写真閲覧ボタン：



メイン画面に戻る

前の曲

再生/一時停止

停止

次の曲

前のページへ

次のページへ

早送り

巻き戻し

タイトルボタン

オーディオ設定：左モノラル、右モノラル、ミックスモノラル、ステレオ及び言語(本製品が対応する形式のディスクに限ります)を切替えます。

リプレー

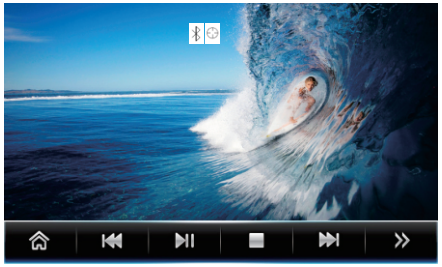
ランダム再生

ボリューム制御：ボリュームの大きさ、左右モノラルのバランスを設定することができます。設定案を選択した後、[VOL-]及び[VOL+]ボタンで設定します。

表示ボタン：DVDの再生時間、曲及び残り時間をオン/オフにします。

映像表示設定：彩度、明度、コントラストを設定できます。設定案を選択した後、[VOL-]及び[VOL+]ボタンで設定します。

映像状態ボタンの説明：



：Bluetooth接続アイコン、画面の中にこのアイコンが表示されると、Bluetoothが接続されます。

：画面の中にこのアイコンが表示されると、タイヤ空気圧警報が出されます。

IPODモード

1 再生状態。画面の中に、リピート再生、ランダム再生、再生/一時停止、曲などの状態が表示されます。
2 曲の名前
3 アルバム
4 歌手
5 再生リスト。メイン画面に再生リスト、アーティスト、アルバム名などが表示されます。

MENU メインメニューに戻る　前の曲　巻き戻し

再生/一時停止　早送り　の曲

リピート再生：1トラック／全体　ランダム再生　EQ サウンドの選択

AUXモード

ビデオ入力ケーブルのプラグをビデオ入力端子に、音声入力プラグを入力端子LIN1、RIN1に接続します。
1.メインメニューで外部入力アイコンをタッチし、外部入力画面に入ります。

メイン画面に戻るボタン
ボリューム調節：ボリュームの大きさ、左右モノラルのバランスを設定することができます。この設定メニューを選択すると、[VOL-]及び[VOL+]ボタンで調節することができます。
映像表示設定：彩度、明度、コントラストを設定できます。この設定メニューを選択すると、[VOL-]及び[VOL+]ボタンで設定します。
EQ イコライザの設定
LOUD ラウドネスモードをON/OFFにします。

状態表示アイコンの説明：

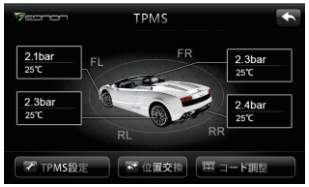
：Bluetooth接続アイコン、画面の中にこのアイコンが表示されると、Bluetoothが接続されます。

：画面の中にこのアイコンが表示されると、タイヤ空気圧警報が出されます。

気圧警報システム(TPMS)（別売）

本製品はTPMS製品を外付けすることができます(EononブランドのTPMS製品専用)。本製品の背面にTPMS接続ソケットが搭載されておりますので、改造の必要はありません。接続するだけで、自動的にTPMSの接続を検出します。本体のタッチパネル画面で、TPMSの機能及び情報を設定することができます。

EONON専用TPMS製品の機能：
タイヤの空気圧に異常があるかどうかを監視します
タイヤの温度に異常があるかどうかを監視します
低圧アラーム設定調整範囲：1.3バール～2.5バール
高圧アラーム設定調整範囲：2.8バール～4.2バール
高温警報設定調整範囲：40℃?90℃
迅速且つ簡単にタイヤ表示位置を監視します
手動で感知送信機のIDコード或いは充電コードを入力することで監視タイヤのIDコードを設定することができます。
タイヤ空気圧単位を簡単に切替えます：bar/psi/kPa
温度の単位を簡単に切替えます：℃/F



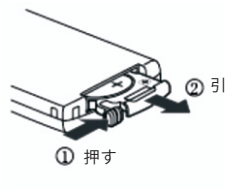
TPMSはパンクの警告、タイヤ異常の警報、フラットタイヤのモニタリングによって、タイヤの寿命延長と事故の防止に役立ちます。

リモコン

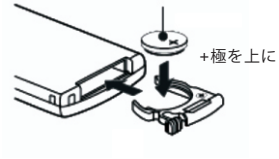
リモコンの使用
使用上の注意事項：
◆CR2025リチウム電池をご使用ください。
◆一般的に、リモコン電池の使用寿命は約1年です。リモコンが効かなくなった場合は、早めに電池を交換してください。
◆高温または日光が直射する場所にリモコンを置かないでください。リモコンが正しく動作しないことがあります。
◆電池を入れるときは、プラスマイナスの向きにご注意ください。
◆ショートの原因となりますので、金属ピンセットグリップで電池に触れないようご注意ください。

リモコンの電池交換

1.電池を取り出す
図のように、リモコンの裏から電池を取り出します。



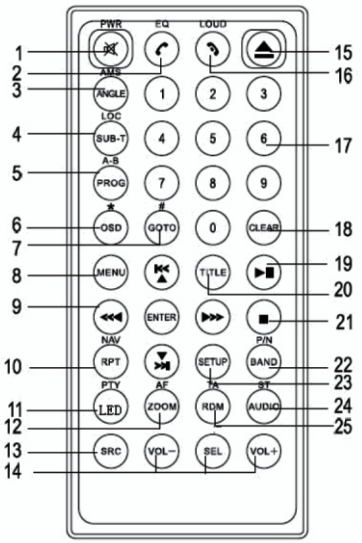
2.電池の取付
CR2025リチウム電池を使用し、下図のように電池の陽極(+)陰極(-)を正確にしてください。



★注意：初めてリモコンを使用する前に、電池プレートの絶縁フィルムを引き抜いてください。

リモコン各部分の機能紹介

1.PWR
電源ボタン,このボタンを押すとオンになります。このボタンを長く押すと、オンにする。オンの状態で、このボタンを押すと、ミュートになります。
2.EQ
このボタンを押すと、イコライザを選択できます。Bluetoothモードでこのボタンを押すと、電話をかける／電話を受けることができます。
3.ANGLE/AMS
アングル切り替え機能を備えたディスクを再生するときは、視野角を変更するには、このボタンを押してください。
ラジオモードで、このボタンを押すと、保存されているラジオ局を閲覧することができます。このボタンを長く押すと、自動的にラジオ局を検索する事ができます。
4.SUB-T/LOC
FMモードでは、このボタンを押すと長短距離ラジオを選択します。
DVDモードでは、このボタンを押すと、字幕の言語を切替えます。
5.PROG/A-B
再生中にこのボタンを押すと、プログラム再生の順序を設定することができます。
DVD/VCDモードで、このボタンを長押しすると、リピート再生の範囲を設定することができます。



6.OSD/*
このボタンを押すと、前後のモニターへの出力モード及びオプション設定ができます。その他のモードでは、時間が表示されます。
DISC/SD/USB再生中にこのボタンを繰り返し押すと、再生中の情報が表示されます。
Bluetoothモードでは、このボタンを押して、電話モードに進みます。
7.GOTO/#DVDモードでこのボタンを押すと、タイトル、トラック/チャプター、ディスク音声、ディスク字幕、角度、タイトル時間、トラック/チャプター時間、リピートモード、時間表示をカーソルから選択し、決定で各設定メニューに進みます。
VCDモードでこのボタンを押すと、チャプター、ディスク全体時間、チャプター時間、リピートモード、時間表示をカーソルから選択し、決定で各設定メニューに進みます。
CD/MP3モードでは，GOTOボタンを押して、曲時間"_ _；_ _"或いは曲:_ _:XX"を選択します。それから,0-9を押して、必要な曲を及び時間を選択します。
Bluetoothモードでは，ボタンを押して、コールをします。
8.MENU
すべてのモードにおいて、このボタンをタッチすると、メインメニューに戻ることができます。
9.再生中に、早送り／巻戻し、及び前のトラック／次のトラックの選曲操作ができます。
ラジオモードではチャンネルを選択します。
DVD設置メニューでは、方向ボタンを押して、目次及びリストを選択することができます。ENTERを押して確認します。
10.RPT/NAV
メディア再生中にこのボタンを押すと、リピートモードが開きます。
長く押すと、GPSナビモードに入ります。或いは、GPSナビモードから出ます。
11.PTY/LED
ラジオモードでは、このボタンを長く押すと、AF機能をオン/オフにすることができます。
LEDボタンを短く押すと、違うLEDモードを選択することができます。
12.ZOOM/AF
ラジオモードでは、このボタンを押して、AFをオン/オフにします。DVD/VCDを再生する際、このボタンを押すと、画面のサイズを設置することができます。
13.SRC
このボタンを押すと、モードを切り替えることができます。
14.VOL-/ VOL+ / SEL
-ボタンを押すと、音量が減少します。+ボタンを押すと音量が増大します。SELボタンを
短く押すと、映像を見ることができます。長押しすると、映像を閉じます。
15.ディスクを出します
16.LOUD
このボタンで、ラウドネスモードをON/OFFにします。
Bluetoothモードでこのボタンを押すと、通話を終了します。
17.(0-9)数字ボタン
ラジオモードでは、1-6の数字ボタンで、プリセットのチャンネルを選択することができます。長押しすると、受信中のチャンネルを登録することができます。
メディア再生中にこのボタンを押すと、対応する番号のトラック／チャプターを直接選択することができます。
TVモードでは、このボタンでチャンネルを選択します。
Bluetoothモードでは、このボタンで電話番号を直接入力することができます。
18.CLEAR
入力し間違えた際、このボタンで再入力することができます。
19.このボタンで一時停止及び再生することができます。
20.TITLE
DVDモードで，このボタンを押すと、タイトル機能メニューに戻ります。
VCDモードで，このボタンで、PBC機能をオン/オフにします。
21.このボタンでプレーを停止します

22.BAND/PN
ラジオモードで、このボタンを押すと、AM/FMを切り替えることができます。
23.SETUP
すべてのモードにおいて、このボタンをタッチすると、設定画面に切り替えることができます。
24.AUDIO/ST
DVDでは，このボタンを繰り返して押すと、言語を選択することができます。
VCDでは，このボタンを繰り返して押すと、チャネルモードを選択する。
ラジオモードでは，このボタンを押すと、ステレオ或いはモノラルを選択します。
25.RDM/TA
このボタンを長く押すとTA機能をオン/オフにします。再生モードでは、このボタンを押すと、ランダム再生することができます。

製品規格

一般規格

電源	DC 12V(10.8~16V)
抵抗	4Ω
最大電流	15A
最大消費電力	4X65W

DVDプレーヤー

オーディオ出力	2.0Vrms±0.3V 10KΩ
Sn比	95dB (1KHz)
歪み率	0.01%
分離度	75dB (1KHz)
周波数応答	±3 dB (20Hz~20KHz)
ビデオ出力	1.0Vp_p±0.2V/75Ω

FMラジオ

周波数範囲	76-90MHZ (日本)
IF	10.7MHZ
実際感度	10dB
Sn比	65dB
歪み率	0.2%
分離度	30dB(1KHz)

AMラジオ

周波数範囲	522~1629KHz
IF	450KHZ
実際感度	35dB
Sn比	50dB
歪み率	0.3%

1.小さいパーツは子供が触れないところに置いてください。
2.取付は、付属の部品を使用してください。
3.自動車により、取付用パーツも異なる恐れがあります。
4.専門業者に依頼することをお勧め致します。

トラブルシューティング

症状	原因	解決方法
電源が入らない	本体との配線の接続が正確でない	配線図に照合し、すべての接続が正確かどうかを確認してください。
	ヒューズが損傷しているかどうかを確認。	同じ型のヒューズを交換してください。
	その他の原因によるMCUの動作不良。	パネルにあるRESETボタンを押し、再起動してください。
ディスクが再生できない	ディスクが汚れている	ディスクをクリーニングしてください
	挿入したディスクが本製品が再生できない種類	ディスクの種類を確認してください
	挿入したディスクの映像システムが本製品と適応できない	ディスクを交換してください
エンジンON/OFF後、保存データがすべて紛失。	ACC電源コードとバッテリ電源コードの接続ミス	コードの位置を交換し、接続し直してください。
リモコンが作動しない	リモコンの電池切れ	リモコンの電池を新しいものに交換してください
音声なし	接続が不正確。	接続を検査してください。
	ミュートにしたかどうかを確認。	音声をオンにしてください。
	早送り・巻戻しあるいはその他の操作が実行中である。	早送り・巻戻し実行中は、音声を再生することができません。
	ボリュームが低い。	ボリュームを大きくしてください。
「」が表示されており、操作ができない	再生中のディスクではこの操作が禁止されている。	操作不可能
	再生中のディスクの形式に対応していない操作である。	操作不可能
ディスクが挿入できない	中には既にディスクが挿入してある	内部のディスクを取り出してから、新しいディスクを挿入してください。
ノイズ	ディスクが故障、或いは汚れている	ディスクをきれいにし、或いは新しいディスクを交換してください。
映像が表示されない	機体とモニターの接続不良	接続をやり直してください
液晶画面のちらつき	映像方式の設定が間違っています	「PAL」あるいは「NTSC」を設定してください。
Bluetoothが作動できない	携帯電話と製品本体とのBluetooth接続が切断されている。	操作方法に従って、操作を行ってください。
Bluetoothモードで音量が大きすぎる	DVD プレーヤーの音量が大きすぎ。	小さくしてください。
Bluetooth通話は途切れ途切れになる	Bluetooth接続中の携帯電話が製品本体と離れている。	Bluetoothを利用する場合、携帯電話は製品本体から5メートル以内に置いて使用して下さい。